千曲市議会だより

No.81
９月議会
令和３年11月１日発行

みんなの議会



柏王の大カシワ

（音声コード）

（千曲市議会公式 YouTube QR コード）

９月定例会

議案審議結果……P 2
委員会報告……P 4
一般質問（個人）……P 7
緊急質問……P 14
市民と語る会……P 17

９月定例会 （８月30日～９月16日）

令和２年度一般会計歳入歳出決算を認定

９月定例会では、千曲市一般会計歳入歳出決算を含む23件の議案と、請願３件を審議しました。

予算関係では「地域づくり要望」等に基づく市道・農道等の整備費などが盛り込まれた一般会計補正予算（第４号）など全ての議案を可決しました。

議案審議結果

採決結果：◎全会一致で可決・認定・同意　○賛成多数で認定

議案番号	件　　名	結果
議案第46号	令和２年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について	○
議案第47号	令和２年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○
議案第48号	令和２年度千曲市同和対策住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第49号	令和２年度千曲市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第50号	令和２年度千曲市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎
議案第51号	令和２年度千曲市下水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について	◎
議案第52号	令和２年度千曲市水道事業会計利益の処分及び歳入歳出決算認定について	◎
議案第53号	千曲市役所出張所設置条例制定について	◎
議案第54号	千曲市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部を改正する条例制定について	◎
議案第55号	千曲市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	◎
議案第56号	令和３年度千曲市一般会計補正予算（第４号）の議定について	◎
議案第57号	令和３年度千曲市介護保険特別会計補正予算（第１号）の議定について	◎
議案第58号	令和３年度千曲市下水道事業会計補正予算（第１号）の議定について	◎
議案第59号	市道路線の変更について	◎
議案第60号	市道路線の廃止について	◎
議案第61号	市道路線の認定について	◎
議案第62号	千曲市・坂城町等公平委員会委員の選任について	◎
議案第63号	千曲市固定資産評価審査委員会委員の選任について	◎
議案第64号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎
議案第65号	令和３年度千曲市一般会計補正予算（第５号）の議定について	◎
議会第７号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書（案）	◎
議会第８号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を求める意見書（案）	◎
議会第９号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書（案）	◎

請願結果

番　号	請願の件名	請願者の氏名	結果
請願第５号	飲食店に対する営業時間短縮要請に関し影響が大きい運転代行業者に対する支援を求める請願	長野県運転代行環境改善協議会 北信ブロック長　丸山　洋一	採択
請願第６号	「へき地教育振興法に鑑み、へき地手当等支給率を近隣県並みの水準に戻すこと」を長野県知事に求める請願	長野県教職員組合更埴支部 千曲市単位組合　委員長　所　澄夫	採択
請願第７号	「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採択を求める請願	長野県教職員組合更埴支部 千曲市単位組合　委員長　所　澄夫	採択

議案 … 23件　　請願 … ３件　　計　26件

賛否の分かれた議案等については市議会ホームページをご覧ください。



注目！

９月定例会から「千曲市議会公式YouTubeチャンネル」を開設しました。

➡ p6をご覧ください。

11月に市議会による『市民と語る会』を開催いたします。

➡ p17をご覧ください。

討論

討論とは、本会議や委員会で議題となっている案件について、採決をする前に、議員個人として賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第46号
○令和2年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

反対　中村　恒彦　議員

国保加入者は、非正規雇用の労働者や退職後の高齢者が大半を占める。国保税が高すぎるため、払いたくても払えず滞納する人が大勢おり、収入未済額が高額になっている。

国庫負担金が減らされ続け、国保税は高騰してきた。

無保険になったり、正規の保険証を失ったりして、医療機関での受診が遅れたために、病気が悪化した事例が数多く報告されている。

高すぎる国保税を引き下げるためには、一般会計からの繰り出しが必要。多くの自治体でその措置が実施されている。しかし、千曲市では引き下げのための繰り出しがされていないため反対する。

賛成　小玉　新市　議員

令和2年度の当初予算は、東日本台風の災害復旧・復興を最優先に、先送りできる事業は先送りし、必要な事業を継続することを念頭にスタートしたが、新型コロナウイルス感染症対策として補正予算を組み、歳入歳出決算額は過去最大になった。その要因は東日本台風災害の復旧に係る繰り越し事業と、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済対策など支出が多くなったためだが、市債も昨年度末とほとんど同額で基金も取り崩すことなく黒字決算となった。当初予算では考えられなかった新型コロナウイルス感染症対策を補正予算等で対応されたことは大いに評価できる。今後も感染症対策を最重要課題として取り組んでほしい。

委員会報告

9月定例会で市から提案された議案については、各常任委員会へ付託して審査を行いました。主な質疑と審査結果は次のとおりです。

◆◆ 総務文教常任委員会 ◆◆

開催日：9月9日
議案5件、請願2件の審査と所管事項調査

○議案第46号　令和2年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問　森将軍塚古墳館観覧料が昨年より微増した理由は

答　令和2年にＮＨＫのテレビ放映があった影響。放映直後より入館者が増えた

問　公共施設等総合管理基金積立金の2億円の内容は

答　令和2年度より設立された基金。使途は、公共施設の長寿命化、統廃合、除却等を目的とした基金

問　U･I･Jターン者向け奨学金償還優遇制度事業が11万5,000円と少額だ。千曲市はPRが足りないのでは

答　市報や市ホームページでＰＲをしている。チラシも成人式で配布の予定であったが中止となった。ＰＲについては今後研究していく

問　学習支援員配置事業費が昨年より700万円増の理由は

答　理科等専科の教員をコロナの関係で、増員したため

【採決結果】
賛成多数で認定すべきものと決定

○議案第56号　令和3年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について

問　不登校対策支援事業費の内容は

答　県教育委員会の心の支援課より、不登校対策モデル校として、屋代中学校に打診があった。教育経験のある方にお願いし、家庭を訪問するなどの活動をしている

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

◆◆ 福祉環境常任委員会 ◆◆

開催日：9月10日
議案7件の審査と所管事項調査

○議案第46号　令和2年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問　地域公共交通活性化協議会事業負担金の使途は

答　主に千曲市総合交通マップの作成費用である

問　交通弱者に手厚い施策をしていくために関係部署との協議や必要な調査をしていくべきだと考えるが

答　高齢者対策もあり福祉部門などと連携して今後の施策のあり方を協議していきたい

（委員会として…今後の交通施策に対する調査研究が必要とし、閉会中の継続調査事項とした）

問　個人番号カード関連事務委任交付金が2,500万円余りとなっているが、マイナンバーカードの交付状況は

答　8月1日現在の千曲市の交付率は31.6%で約1万9,000人への交付が完了している。年代別では50歳から80歳くらいまでは平均以上の交付率だが、20歳未満の若年層への交付が進んでいない

問　不妊治療費の補助金として290万円余りが支出されているが、制度と実際の助成件数は

答　20万円を上限として治療費の2分の1を助成しており、令和2年度は33件に助成した

【採決結果】
全会一致で認定すべきものと決定

○議案第47号　令和2年度千曲市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問　令和2年度の滞納と不納欠損の状況は

答　滞納者数は459名で前年より減少しており、不納欠損は28名となった

【採決結果】
全会一致で認定すべきものと決定

◆◆ 建設経済常任委員会 ◆◆

開催日：9月13日
議案9件、請願1件の審査と所管事項調査

○議案第46号　令和2年度千曲市一般会計歳入歳出決算認定について

問　商工業振興対策事業費の市街地活性化拠点施設支援事業補助金及び先端設備導入支援補助金の詳細は

答　市街地活性化拠点施設支援事業は屋代駅のウェルカムステーションの運営費用に係る補助金292万円。先端設備導入支援は先端設備の導入計画促進事業として、国の臨時交付金を活用し主に製造業で25社2,000万円ほどの実績があった

問　冬期交通対策事業費の除雪委託料が予算1,170万円に対して決算が2,000万円となった要因は

答　昨シーズンより降雪量が多く、市で行なっていた除雪等の多くを業者に依頼した結果、除雪委託料が増額となった。本年度は経費節減につながるよう努めたい

【採決結果】
全会一致で認定すべきものと決定

○議案第56号　令和3年度千曲市一般会計補正予算（第4号）の議定について

問　交通安全対策事業費の杭瀬下地区スムース横断歩道設置200万円はどのようなものか

答　国交省との共同事業。あんずホール東側の通りに、車のスピードを抑え、歩行者が安全に横断できるように蒲鉾型の横断歩道を設置するもの

【採決結果】
全会一致で可決すべきものと決定

○請願第5号　飲食店に対する営業時間短縮要請に関し影響が大きい運転代行業者に対する支援を求める請願について

【採決結果】
賛成多数で採択すべきものと決定

総合計画及び創生戦略に関する特別委員会中間報告

本年3月19日の特別委員会設置以降、4月20日に第2回、7月21日には第3回の委員会を開催した。担当課からは第三次総合計画の策定方針や従来の10年計画から5年計画に、基本構想・基本計画・実施計画の3層構造を2層に簡潔化する意義等の説明を受けた。また、第二次総合計画の前期計画達成度の検証とまちづくりワークショップや市民意識調査の結果、総合計画審議会の開催報告も受けた。委員からは市民が参画しやすい形での策定や分り易い簡潔なものにして欲しい等の意見があった。

また、委員会ではこの間3回、独自の研修会をオンラインで開催した。

5月20日、大正大学江藤俊昭先生「総合計画策定における議会の関わり方」

7月1日、関西学院大学小西砂千夫先生「財政分析と総合計画について」

8月2日、㈱日本総合研究所藻谷浩介先生「ポストコロナ時代の千曲市の可能性」

各分野の著名な先生方に講演いただき、大いに参考にし、総合計画策定に活かしたい。

これらの研修会や委員会での調査、研究から8月20日の第4回委員会でまとめた提言を8月30日「第三次千曲市総合計画策定に向けた第一次提言」として議長名で市長に提出した。

提言では、

○災害に強いまちづくり

○感染症対応の医療対策強化と経済支援の継続

を最重点課題に挙げ

○まちづくり全般の見直しと各種産業の基盤整備・態勢整備

○地域協働によるまちづくり

○子育てと教育環境の整備

○日本遺産「月の都　千曲」の積極的な活用

の6項目を提言した。



議会本議会の録画配信を始めました



9月定例会から、インターネット上で録画映像の配信を始めました。本会議や一般質問の様子を、パソコンやスマートフォン等で視聴することができます。

千曲市ホームページ → みんなの市議会 → 千曲市議会公式YouTubeチャンネルを開設しました

または、千曲市議会公式YouTube QRコード

一般質問（個人）

12名が市政を問う！

日程	掲載頁	氏　名	通　告　事　項
9月6日(月)	8	林　慶太郎 （自由民主クラブ）	1　これからを見据えた消防団の活動と体制 2　水害の防災・減災対策について 3　地域主体のまちづくりについて
	8	柳澤　眞由美 （公明党）	1　選ばれるまち千曲を具現化する小川市長のまちづくりとは
	9	吉池　明彦 （一志会）	1　長引くコロナ禍に対する新たな支援について 2　ポストコロナ・アフターコロナに向けた「地方創生」の推進について
	9	小玉　新市 （一志会）	1　区長・自治会長について 2　自治区・自治会について
9月7日(火)	10	北川原　晃 （新政クラブ）	1　公共交通政策について 2　河川敷に設置されたスポーツ施設について
	10	川嶋　敬信 （一志会）	1　危機管理と防災について 2　都市計画道路整備について
	11	滝沢　清人 （公明党）	1　気候変動のなか台風シーズンへ万全の備えを 2　社会的課題「ヤングケアラー」実態調査を
	11	前田　きみ子 （日本共産党千曲市議団）	1　競輪場外車券売り場について 2　千曲市の安全な道路について 3　市民の安全な生活のために
9月8日(水)	12	中村　眞一 （新政クラブ）	1　令和2年度一般会計決算について 2　千曲線沿線の開発と五加保育園の拡充
	12	田中　秀樹 （無会派）	1　文化施設とエリアマネジメントについて 2　コンパクトシティ政策について 3　道路交通法改正について
	13	中村　恒彦 （日本共産党千曲市議団）	1　防災について 2　環境問題について
	13	宮下　繁明 （一志会）	1　新型コロナウイルス禍への経済対策について 2　屋代地区の開発について 3　上山田中央緑地復旧工事について 4　上山田市民窓口の充実について 5　上山田小学校の通学路の安全確保について



林　慶太郎

これからの地域防災とまちづくりについて

問　消防団の団員負担軽減と加入促進のためにも、体制の改善が必要では。また、市のポンプ操法大会の開催を隔年に見直すべきではないか。

答　総務省から示された団員報酬等の基準見直し等団員の処遇改善を受け、市においても今年度中を目途に改正できるよう進めている。市操法大会の見直しについては、上部大会である県大会の動向を見ながら決定していきたい。

問　近年、被災しては復旧が繰り返される千曲橋緑地について、河川敷外へ施設を移転し、移転元を水害対策に充てるべきでは。

答　度重なる被災を踏まえ、代替性のある箇所があるか、用地を確保できるのかなど、改善策の検討が必要と考える。水害対策についても、引続き国と連携して推進していく。

問　沢山川の水害対策について、期成同盟会の要望事項の進捗は。

答　県で行う堤防天端の舗装が年度内には完成予定と聞いている。土砂の堆積が見受けられる箇所は、その都度県に要望しており、今年度は富士見橋から東小学校間付近について発注手続きが進められている。堤防を千曲川と同じ高さに整備する要望は、平成２年に※セミバック堤方式で完成していることから事業化に至っていない。

問　住民自治組織設立について、今後のスケジュールは。

答　今年度内に基本方針の素案を策定。４年度には地域説明会の開催。５年度には準備会設置、制度設計を確立し、６年度には設立を目指していく。



▲コロナ禍で中止となった操法大会に代わり、訓練を行う消防団

※セミバック堤方式…合流点に逆流防止施設（水門が多い）を設けて本川の背水が支川に及ぶのを遮断できる機能を有した堤防形態



柳澤　眞由美

選ばれる千曲を具現化するまちづくり

問　20年間で6000人減少した千曲市。現状をどのように捉えているのか。

答　特に20～39歳までの年代が大きく減少、市外へ人口流出している。一方、世帯増で核家族化が進んでいる。

問　出産・育児・教育について若者世帯の関心は高い。また選べる保育・教育環境も求められている。若年層の人口減少に歯止めをかける政策は何か。

答　総じて子育て世代へのアプローチは効果が薄い状況。子育て・教育を中核に据えたまちづくり、選ばれる都市に生まれ変われるという提案は私も同じ想いだ。（市長）

問　①インターナショナルスクール保育・幼稚部（プリスクール）を誘致し、防災公園・農業公園を併設。②Ｗｉ－Ｆｉを整備。③自然の中で遊べる大池市民の森整備。川西エリア・更級の里のまちづくりに着手し、千曲市を変えないか。

答　プリスクールは一定の需要があり、幼児教育の選択肢の広がりが期待できる。防災公園は年度内に防災拠点として資料をまとめ、基本構想の中で防災公園及び農業公園の併設の可能性を検討する。魅力的な生活環境や働く場所の創出、移住者とともに地域コミュニティの維持・継承を進め、選ばれるまち千曲市の実現に努めていく。

問　移住定住の担当が観光交流課で良いのか、市の良さを発信する専門部署・担当を置く推進室を設置してはどうか。

答　移住・定住の部署については研究したい。近居・同居への補助金も練り直し、前向きに検討したい。行政マネジメント室でも検討したい。



▲千曲市の移住・定住を促す情報発信地「川西エリア・さらしなの里」



吉池　明彦

コロナ禍支援の検証と地方創生の在り方

問　昨年度の「コロナ対応地方創生臨時交付金」は的確に切れ目なく執行されたか。また、特に評価できる点は。

答　令和２年度にて予算化した臨時交付金約10億円の内、９億円は、全額執行、繰越し１億円の執行率は８月末81％。評価できる点は、国の支援を待たずに感染症対策や旅館ホテル事業継続給付金・業態転換等の支援を執行した。

問　今年度の臨時交付金を活用した新たな支援事業はどの様なものか。

答　６事業約１億４０００万円、推し店プラチナチケット、ものづくり生産性向上事業補助金、ザーマルカメラ購入事業などを予定している。

問　「第一期まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「継続版」の総括として、特出した成果と今後の進め方は。

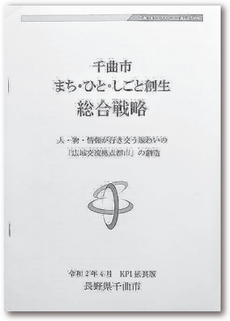
答　工場の立地推進では空き工場や工場跡地のマッチングが14件、企業立地推進では、雨宮産業団地、八幡東産業団地の開発が実現した。また、子育て世代包括支援センターを設置したことは、若い世代の転入増加に繋がっている。今後は、総合計画に包含し推進する。

問　「地方創生の在り方」は、地域再生制度に基づき計画認定を受け、市長の目指す「文化伝承創造都市」を具体的な施策に展開し、着実に推進すべき。

答　策定中の総合計画に将来像と具体的な施策を示し、市民参画を経て決める。支援措置の活用時は、計画を作成する。

【その他の質問】

○人口減少と社会増に向けた施策
○ＤＸ推進による生産性向上施策
○※ガーボンニュートラル推進施策



▶来期から「総合計画」に包含される【総合戦略】目指す将来像は「広域交流拠点都市」へ

※サーマルカメラ…非接触で表面温度を検知することができるカメラ
※カーボンニュートラル…二酸化炭素など温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させ、排出量を実質ゼロに抑えるという概念



小玉　新市

区長、自治会長について

問　区長、自治会長はそれぞれの地区内で推薦、あるいは選挙等で選出され、その地区の長でもある。その区長等を「行政推進委員」として市長が委嘱している。行政推進委員の任務を伺う。

答　「千曲市区長等に関する規則」に記載されており、市報等の配布、地域要望の取りまとめと市との連絡調整、アンケート調査の取りまとめ、市からの依頼事務の伝達など、市民の皆さんと市との連絡調整や市民の皆さんへの行政情報の周知・伝達を主な職務として委嘱している。

問　行政推進委員の報酬は。

答　報酬の支払いについては、以前から市の円滑な行政の遂行を担っていることへの対価として報酬として支払っている。報酬が現在内規によってのみ定められていることについては行政の公正性、透明性の観点から、支出根拠が不明確な部分がある。また令和２年度の地方公務員法の改正もあり、今後の報酬については例規の整理を行い、適切な事務執行に努めていく。算出根拠は各区・自治会を世帯数に応じた５つの区分に分け、最も低い区分を17万５０００円、最も高い区分では29万５０００円とし、毎年度予算の範囲内で支出している。また行政連絡委託料については、予算額の４割に該当する額を市内71の区・自治会に均等割として算出し、予算額の６割に相当する額を各区・自治会の世帯数に応じ按分し、その合計した額を委託料として支出している。



▲地域防災について考える行政推進委員（区長さんたち）



北川原　晃

デマンドタクシーの利用地域を全市に

問　**デマンド型乗合タクシーは一部の地域限定ではなく、利用範囲を全市に広げ、交通弱者のための「福祉的公共交通事業」として公平な事業に見直すべきでは。**

答　今までの公共交通のあり方を見直し、利用者の利便性、地域の公平性、運行の効率性等の視点を持ち、より良い公共交通を模索していく。また交通弱者のための福祉的公共交通として、全市で運行できるかを含め研究していく。

問　**循環バスの利用者が激減しているが、「循環バス事業」をどのように考えているか。**

答　減少の要因は、コロナ禍の出控え、人口減少、免許証を保持している市民の増加である。今後は免許返納した高齢者や障がい者をはじめとした交通弱者の移動の確保を最優先に整備し、「ターゲットを絞ったサービスの提供」と「利便性の向上」を進めていく。

問　**近年、地球温暖化による気候変動の影響で洪水による災害が多発している。千曲橋の河川敷にある野球場やマレットゴルフ場は、過去何度も冠水と復旧工事を繰り返し、多額の税金が使われている。災害の無い安全な場所に整備すべきでは。**

答　度重なる被災を踏まえ、安全で代替性がある適切な用地を確保できるか等、関係部署と連携を図りながら検討していく必要があると考えている。



▲デマンド型乗合タクシー「めぐりきらり号」



川嶋　敬信

危機管理と防災について

問　**災害・防災情報の発信について屋外告知放送とメール配信の現状とデジタル防災行政無線の整備状況について伺う。**

答　屋外告知放送は市内全域に情報伝達ができるようスピーカーの増設や方向を変えるなどの改善を行っている。今年度は要望が多い地域に子局を5基増設し可聴エリアを拡大するよう進めている。メール配信登録は9月1日現在4105人の登録となっている。デジタル防災行政無線の整備状況は移動局50局、車載型移動局5局の整備を行った。戸別受信機の設置は、要配慮者で設置の希望があった749世帯へ設置を行った。

問　**千曲橋緑地の浸水について8月の大雨で今回も千曲橋緑地は浸水した。令和元年の台風災害の復旧には2億1000万円ほどかけて現在工事中であった。千曲市発足以降何回浸水被害を受けたのか。今後の対応をどうするのか伺う。**

答　過去18年間で7回浸水被害にあっている。今後については慎重に検討する。

問　**都市計画道路について都市計画道路整備プログラムでは廃止対象路線や線形変更区間が示されたが、地元との協議が無いまま進めるのはいかがなものか。**

答　パブリックコメントは実施したが、今後は地域への説明をしっかり行っていく。

問　**市道一重山2号線については。**

答　東西連携軸の一部であり、スマートICのアクセス道路としての位置付け。将来的に都市計画決定を目指す。



▲森将軍塚古墳からみた屋代地区開発予定地



滝沢　清人

スーパー台風襲来 市では広域避難が必須

問　**近年の亜熱帯化にあって、最も怖いのはスーパー台風襲来である。江東5区大規模水害広域避難計画リーフレットのように『なぜ、広域避難・避難行動計画が必要か』市民に警戒感が伝わるリーフレットを届け、避難行動計画「マイタイムライン」作りを後押しすべきだ。**

答　江東5区共同のリーフレットは、非常に強い言葉で危機意識を促し、ここまで必要なのかを訴え「犠牲者ゼロ避難」の観点から大変重要であり検討したい。

問　**近年大規模災害現場で活躍するドローン。熱海市伊豆山地区の土石流災害現場で企業と大学が共同で撮影、被災前映像と重ねICTによる精密な状況図を公開、救助活動など捜索隊員の支援を行った。千曲川流域で大規模水害が発生した場合、市内へのドローン緊急支援は相当困難で救助活動などの遅れが懸念される。市独自で複数ドローンとICTを操る「ドローン災害対応システム」を確立すべきだ。**

答　大規模災害時にあって、発災直後からドローンの活用は重要であり、消防本部のほかに市としても所有して活用できるよう調査研究したい。

問　**国による「ヤングケアラー実態調査」が行われ、「世話をしている家族がいる」と答えた中学生が17人に1人、高校生は24人に1人いることが判明した。学校でもヤングケアラーの理解が深まる教育と支援が必要ではないか。**

答　県の調査も見極め、SOSのサインを見逃さないためにもヤングケアラーについて、教職員・保護者・子ども達と共に学び考える時間を持ちたい。



▶江東5区大規模水害広域避難計画リーフレットの一部
「出典：江東5区広域避難推進協議会」

※江東５区…東京都東部の墨田区、江東区、足立区、葛飾区、江戸川区



前田　きみ子

競輪、県道77号、妊婦にワクチン接種を

問　**各関係区への説明会で「競輪会場準備中にも疑問などを聞いて地域住民の意思を尊重する環境整備協議会を設置する」と事業者は説明し、委員長は千曲市長としているが、協議会は設置するのか。**

答　「地元の関係区の要望があれば施設オープン後に、立ち上げを検討したい」と信州ちくま株式会社から聞いている。

問　**令和元年に、市内の県道77号は制限速度50㎞になり、「危険で納得がいかない」の声が多く寄せられているが。**

答　令和2年に、稲荷山地区区長会や関係者からも要望があった。千曲警察署から、「引き下げの検討をしている」と回答をいただいた。

問　**市内の通学路は、完全に車道と歩道に区切られている道路は少ない。通学指導員や見守り隊が防犯も含めて子ども達の安全を見守っていただいているが、市内の通学路は、30㎞制限に。**

答　歩行者等の安全のためには、区域を定めて「ゾーン30」による規制が有効であり、市内では、屋代小・八幡小・戸倉小・市役所東側の各周辺4カ所を指定している。

問　**妊婦さんへの新型コロナワクチン優先接種を、また家族にも早急な接種をするべきだ。**

答　すでに、妊婦とその家族を含むすべての方の予約を開始している。また、早目に接種いただくよう案内もしている。





▲制限速度「ゾーン30」の標識



中村　眞一

令和2年度一般会計決算の検証について

問　令和2年度予算は339億6000万円と超大型予算になったが、中身は。

答　令和2年度は当初予算263億8000万円で「新型コロナ感染症」対策経費約77億円の大型補正予算を追加したことにより、最終予算は340億円近い予算額となった。

問　決算額は344億4000万円になったが、財政状況について尋ねる。まず、財政調整基金の状況は。

答　不測の事態に備えた積立金で、令和2年度末残高は約37億円で、令和2年度決算に伴う余剰金積立を7億円行い、残高は約44億円になった。

問　借金である地方債の状況は。

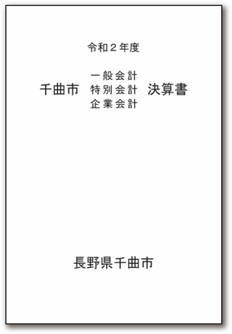
答　令和2年度地方債残高は約319億6000万円で、うち交付税措置率が約73％で実質的な残高は約27％相当の約86億3000万円である。

問　標準財政規模に対する借入金の返済額の比率を指標化した実質公債費比率が悪化しているが、その原因は。

答　ここ数年悪化しているが、要因は長野広域連合が広域ごみ焼却施設建設の際の借入地方債の償還に係る負担金の増加によるもの。

問　平成29年、30年、令和元年と3年連続で実質単年度収支が赤字になり、令和2年度に黒字化した。その間の赤字の原因は。

答　平成29年、30年は新庁舎建設事業にあたり、一般財源不足額を財政調整基金の繰入で措置した。令和元年度は実質収支が前年度を下回った。令和2年度決算は黒字化したが、今後財政調整基金に依存しないよう努める。



▶令和2年度千曲市決算書



▲たくさんの人に訪れてほしい
稲荷山宿・蔵し館



田中　秀樹

蔵のまち稲荷山の可能性を活かせ

問　毎年度、それぞれ数百万円の歳出超過が続く稲荷山宿・蔵し館、ふる里漫画館の状況について、市の認識は。

答　文化の振興を図るべく、開館以来さまざまな催しを企画し、利用者増に努めてきた。なかなか収支構造の改善にはつながっていないが、当面は施設を維持し、重伝建地区の拠点の一つとして効果的な活用を図っていきたい。

問　利用者数及び収入アップの工夫は。

答　共通観覧券のPRの充実をはじめ、あらゆる広報媒体を通じて魅力ある情報発信に努める。庁内連携、信州千曲観光局との情報交換、小中学校との連携などを通じ、一人でも多くのお客様にお越しいただくアイデアを創出する。

問　コンパクトシティ政策推進にあたり、どのようにして集積を進めるか。

答　市は現在、立地適正化計画などに基づき、適正な市街地の形成に取り組んでいる。今後、持続可能な都市経営に向け、用途地域の見直しを実施する予定。また、市民が安心して暮らせる環境づくりも重要であり、居住誘導区域内の防災指針の作成にも取り組む。

問　準中型免許の創設に伴う消防団・消防団員への対応について伺う。

答　昨年度、団員に対し運転免許取得状況調査を行った結果、2・6％が該当し、消防ポンプ車を運転できない状況であることがわかった。今後も該当者が増えていくことが予想されるため、準中型免許取得に伴う補助金の交付やポンプ車から積載車への移行など、他市の動向を見ながら地域防災力の低下とならないよう対策を講じていく。



中村　恒彦

警戒情報はレベル1から、田んぼダムを

問　今年8月中旬の大雨で、警戒本部や対策本部設置のメールは届いたが、警戒レベル1、2は発信されていない。いきなりレベル3が届くより順に出した方がゆとりをもって準備できるが。

答　レベル1、2は気象庁が発するものだが、甚大な被害が想定される台風等の場合は、警戒レベルにとらわれず、情報の発信をしたい。

問　8月の大雨の時、ヤフー天気では「警戒レベル3」相当と発表されていたが市は出していない。食い違う情報に市民は困惑するが、なぜか。

答　ヤフーは気象庁のデータをもとに瞬間でとらえ、機械的に発出するが、市は様々なデータを勘案し総合的に判断している。

問　8月の大雨で水位が上昇し河川敷の施設がまたもや冠水した。洪水を防ぐために、農家に無理のない範囲で田んぼダム協力の要請をしてはどうか。

答　国・県・市が行う治水対策の状況を勘案しながら研究していく。

問　電力の小売り自由化が始まった。市で使用する電力はどこから購入しているか。

答　電気料金が一番安い関西電力とエネット。3300万円の節約ができた。

問　市の電力の一部を、県企業局が運営する水力発電所の「※信州グリーンでんき」に切り替えてはどうか。やや割高だが、その差額分は、新たな再エネ電源の開発や効率向上、維持、そして地域振興につながるという。

答　今後の情勢により対応する。



▲8月の大雨で冠水した千曲橋緑地グラウンド

※信州グリーンでんき…県企業局が運営する水力発電所などで作られる電気を中部電力ミライズが販売する再生可能エネルギー



宮下　繁明

花卉農家・芸寮組合支援 観光客のPCR検査

問　新型コロナ禍で市内経済は深刻な状況が続くが、実態把握はできているか。花卉農家も相場の下落と灯油の値上げで厳しい状況にある。歴史ある上山田戸倉温泉芸寮協同組合が解散したが、伝統文化を守るためにも市が支援すべきではないか。観光客に安心して宿泊してもらうために、市独自で希望者にPCR検査をする考えはないか。

答　市内の空店舗の状況や花卉農家の現状把握に努め、適切な支援を考えたい。芸寮組合が復活し活動する際には支援策を検討したい。観光客のPCR検査は感染拡大防止につながるが、実施するには体制を整備する必要がある。

問　屋代地区開発での企業誘致「失敗の本質」を検証し市民に説明すべきではないか。調査報告書の「減歩率」等の内容を議会や地権者へ公表しない方針はいつ誰が決めたのか。開発が白紙となった以上「一重山2号線」の道路建設についても一旦白紙とすべきでないか。

答　計画地は、※農振農用地、※埋蔵文化財等で開発が困難な土地であったが、大型商業施設誘致にこだわり続けたことが要因。「報告書」の試算では開発が成り立たないため、平成30年10月土地区画整理組合設立準備会で役員が地権者へ説明しないと決め、議会へも公表されなかった。一重山2号線は屋代開発が進まなくても切り離して市道として整備する。

問　上山田中央緑地復旧工事の異常な増工による契約変更は何故発生したか。

答　当初設計時を大幅に上回る土砂があり、2回の増工となった。今後は事前に議会に報告し、適正に執行する。

【その他の質問】

○上山田市民窓口の充実について

○上山田小学校通学路の安全確保について



▶63年の歴史を有する県内唯一の上山田戸倉温泉芸寮協同組合

※農振農用地…一般的に「青地」と呼ぶ。農業振興地域の整備に関する法律に基づき今後維持していくべき農地として市が区域を設定している。　※埋蔵文化財…土地に埋蔵されている文化財（主に遺跡といわれている場所）

定例会　最終日

「千曲市まちづくりアカデミー」アドバイザー 若狭清史氏 委嘱に伴う「緊急質問」

柳澤 眞由美 議員

問　**8月30日議会初日にも、アドバイザーとして若狭氏委嘱について議会へ情報提供がなかったのは何故か。市長の議会への対応、人選について伺う。**

答　総務文教常任委員会で報告する前に新聞報道が先行した事はお詫び申し上げる。27年度からあるアカデミー制度は新制度ではなく、新たな委嘱についても結果が出た時にお知らせするという思いであった。

問　**諮問機関だが、市政の課題を推進する制度の人選の根拠は。**

答　人選の根拠は、千曲市まちづくりアカデミーの活性化をめざし、先の一般質問でも答弁したが、若い世代、とりわけ女性に選ばれるまちにしたいという思いがあり、移住・定住を促進する中でアドバイスをいただきたい。私が必要と思われる分野の専門家に委嘱する。

問　**アドバイザーが若狭氏であったため、議会への情報提供を伏せていた今回の行動は、周りからのアドバイスか。**

答　故意に披瀝しなかった訳ではない。

問　**大事にしてきた議会との情報交換会で触れなかった理由は。**

答　今思えば情報交換会で話せば良かったと思っている。議会の同意を求める人事案件ではないとの認識である。

問　**アドバイザー料など税金から支払うが、1時間5千円以外、コロナ禍でSNSを使ったアドバイスは報償の細かい規定をしているか。**

答　SNSの活用は要綱が不備であると理解したので、今後詰めていきたい。

小玉 新市 議員

問　**若狭氏の起用は市長独断か、担当部署の要望で決めたのか。**

答　今回は私の判断で委嘱した。

問　**今までのアカデミーを更に活性化し、新たな構成をするなら全員起用し発表されるのに、なぜ若狭氏だけを議会より先に新聞で発表したのか。**

答　議員の皆さんが若狭氏についていろいろ質問されることを想定し、早く知らせることが市民にも知らせることになるため発表した。全体像は既に示している。平成27年度からある制度で全体像が分からないということは理解できない。

問　**若狭氏とはどのようにして知り合ったのか、紹介か、推薦か。**

答　紹介や推薦ではなく、同じ思いがあったため私の方から声をかけた。

問　**企業に勤めているのなら企業と契約されないのはなぜか。**

答　若狭氏個人との契約である。

問　**この件で多くの方が疑念を抱いている。市長自ら疑念を晴らしては。**

答　疑念を抱くのは私に対する議員の立ち位置によって違う。私を応援している方は決してそういう疑念は持たない。前市長を応援された議員とそうでない方とでは私を見る目も変わってくる。こうした議論はするつもりはない。

金井 文彦 議員

問　**小川市長が千曲市政へのアドバイザーとして大きな期待を寄せる若狭氏を登用するとした2月の顧問招聘（しょうへい）について、事前に議会への報告を行ったにも拘らず、結果的に見送られた理由は何か。**

答　コロナ禍に税金を使って月額30万円の報酬を支払うことが、市民感情としていかがなものか、即ち待遇面で市民の理解が得られないと判断した。

問　**2月の顧問起用の際は、待遇面でコロナ禍に苦しむ市民の理解が得られず断念したとの答弁だが、コロナ禍の状況は今も変わりはない。1時間5千円のアドバイザーであれば市民が納得すると判断しての委嘱であったのか。**

答　千曲市を前に進める事業をしていく中で、どうしても専門的な知識のアドバイスは必要であり、そこには費用が伴うものと理解している。

問　**今回の案件は2月と同様、賛否両論が市民の中にある。反対する理由について考慮すれば、敢えて若狭氏をアドバイザーとして迎えようとする市長の頑なな姿勢は理解できない。今後の市政への影響を考え、若狭氏の委嘱撤回を求める。**

答　若狭氏起用に対しての反対の声は、私のスタンスに対して距離を置いている方の周りの印象であると理解しており、私の周りではない。そもそも前市政に対する立ち位置が違うということでの発言である。私の政策判断で決定した事項であり、撤回する考えは無い。

前田 きみ子 議員

問　**本年2月小川市長は、若狭氏顧問起用は市民の反対で見送ったが、理由は、月額報酬30万円が高いからだと繰り返し答弁している。若狭氏「まちづくりアカデミー」アドバイザー委嘱について9月9日の総務文教常任委員会で説明しようとしたが、正副議長にも、正副委員長にも事前に話がなかった。なぜ委員会で説明しようとしたのか。**

答　議会への報告はしないとまずいという判断をしていたが、いつ報告するか、私は皆さんがこれだけ関心を持っている制度という理解が足りなかった。以前から総務文教常任委員会で報告する気持ちでいた。

問　**開会日の諸情勢の報告に載せるべきであったのではないか、時間がないのなら口頭でも良かった。議員全員に示すべきであった。アドバイザー委嘱は、市長の専権事項で議会の同意を得るものではないが、手続きを踏むことなく行ったことが何かあると思ってしまうのではないか。また、職員にも優秀な方が沢山いる。職員とも、これからの問題についてよく話し合えるような姿勢にしなければならない。市民の声にしっかりと耳を傾ける姿勢が必要だが。**

答　議会初日の諸情勢で報告しなかったのは、私の認識が皆さんと違っていた。当然市民の皆さんの声は聞くし、私なりに努めている。今回の件は、私の価値判断と皆さんの価値判断がずれていたことを理解した。

川嶋 敬信 議員

問　**昨年12月の所信表明で、「市民目線に立って市民の皆さんがどう感じるか、想像力を持ち……」また、「どの政策も議員各位はじめ、市民の皆さんのご理解とご協力なくして実現できるものはない」と言われた。また、昨日は「やろうとしていることに前向きな質問、提案をもらったことがない」と議会に対して非常にきつい言葉を使ったが、市長の本当の考えを聞きたい。**

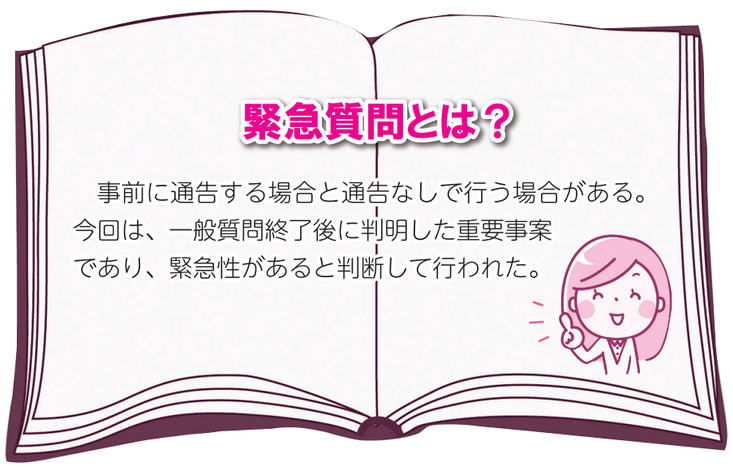
答　昨日の全員協議会は、一種独特の雰囲気だったので語気を強めた部分もあった。しかし質問の内容によっては、そうした傾向にあるのではないかと私は理解している。

問　**市長は答弁の中で何回か「若狭氏と公約に共通の部分があった」と言ったが、市長選の時、若狭氏の公約パンフレットを見て「公約を盗用された」と言った件を説明いただきたい。**

答　盗用かどうかということは、私が判断できる話ではない。中には、よく似たものがあり、考えることは似てくるものだと思った。

問　**新幹線の中間駅の件、屋代地区の大型商業施設の件、これは市長も説明が足りなかったと認めているが、今回の件も市長の説明が非常に足りない。議会としては市民の皆さんへ説明をしっかりする必要があるので、ぜひ特別委員会の設置を要望して質問を終える。**

議長　その申し出については、議会運営委員会に諮って検討する。



※緊急質問の文章は答を含め質問者の責任で作成しています。

●議 員 活 動●

コロナ禍により、現在視察等を自粛しております。

7/8 県市議会議長会総会（飯山市）



7/28 新国道上田篠ノ井間 建設促進期成同盟会要望活動 （県庁、 長野国道事務所）



7/29 建設経済常任委員会 現地調査 （産業連携道路ネットワークなど）



8/19 福祉環境常任委員会 現地調査 （あんずの里保育園、 稲荷山保育園）



8/30 第三次総合計画提言 市長へ提出





開かれた議会へ

市民と語る会を開催します

今回の「市民と語る会」は４中学校区で行います。内容は各委員会からの「議会報告」と「議会と市民の意見交換会」です。

前回同様に感染予防対策を徹底して開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日　程

月　　日	時　　間	中学校区	場　　所	定員
第10回 11月12日(金)	18:00 ～ 19:30	更埴西中学校区	稲荷山公民館	50名
第11回 11月15日(月)	18:00 ～ 19:30	屋代中学校区	屋代公民館	50名
第12回 11月16日(火)	18:00 ～ 19:30	戸倉上山田中学校区	戸倉創造館	50名
第13回 11月19日(金)	18:00 ～ 19:30	埴生中学校区	埴生公民館	50名





市議会による『市民と語る会』が開催されました

～ 市民と語る会　質問と答弁 ～

五加・治田・八幡・埴生・屋代５小学校区での「市民と語る会」概要版（詳細は市議会ＨＰで）

五加小学校区　4月 23 日

問　小川市政について、議会から見て何が良くなって、何が良くないのかについて伺う。

答　行政経験が浅い中で、コロナ禍の対応、そこに顧問や副市長人事の件、屋代の大規模開発問題等これまでの岡田市政を継続しているものが多く、「千曲市を変える」とのスローガンはまだまだこれからだとみています。当初予算からも大きな変化は見当たりません。公約の「上山田戸倉市民窓口」は始まりました。市長選から半年が過ぎ、市民の声も色々あると感じています。

問　生活困窮者が増える中、「生理の貧困」について千曲市はどのような対策をとっているか。

答　生理用品は防災備蓄倉庫に900袋の備蓄があり、それらも活用し小中学校の女子トイレに置くことなど提案します。４月から100袋ずつ保健室に配布されました。その他、社会福祉協議会や福祉課で相談し、市民への配布方法を検討しています。困窮者の実態を行政側で正確につかんでいないため、議会から綿密な調査をするよう申し入れました。生活困窮者問題については「まいさぽ千曲」でサポートしています。福祉課では様々な窓口で対応し、社会福祉協議会では小口資金貸付制度があり、困っている人の支援となっています。

問　市道千曲線の植栽桝の除草について、市民が行っているが大変危険である。市で管理し、専門業者にやってもらいたい。

答　植栽の除草を協働の精神でやっていただき、地域の皆さんには感謝致します。作業に危険が伴う状況について行政に伝え、協働で管理するあり方について協議するよう進言致します。

問　千曲線の除草作業で、歩道に植栽木の枝が伸びて、自転車に乗っている中学生に当たっている。市は歩道の植栽も管理していただきたい。

答　市では業者に委託して管理しているが、行き届かない場所もあるかと思います。危険な箇所があれば直ぐに建設課維持係へご連絡下さい。

治田小学校区　5月６日

問　市報のタイトルを、なぜローマ字にしてしまったのか。

答　市の回答では「市民アンケートの結果として、市報は比較的若い人が読んでいないことが分かったため」という回答で、市長の発案でタイトルのローマ字表記が決まり、それに対して「市民からはクレームなどは来ていない」ということでした。



問　５月に全戸配布になった防災ガイドブックの内容は素晴らしいが、ただ配布しただけでは意味がない。台風19号災害で千曲市始まって以来の甚大な被害を受け、初めての大規模な避難を経験して多くの問題があったのだから、説明会や勉強会をやって今後の具体的な避難行動に繋げるべきだ。

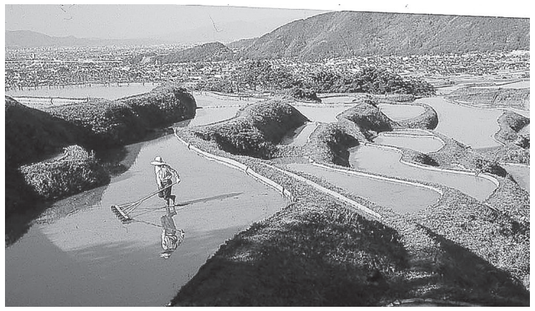
答　防災ガイドブックについては、地域で説明会・研修会を行う予定ですが、コロナ禍で少し遅れると思います。

くためのアンケートを提案しました。
⇒９月議会委員会：アンケートの６割がチケット不要の結果をもとに、環境審議会の皆さんで協議され、７月には廃止の方向で良いという結論が出されました。

八幡小学校区　5月 14 日

問　日本遺産「月の都 千曲」の推進事業について、まずは、市民に「月の都」の魅力を知ってもらうことが大事ではないか。そのために「月の都」バスツアーを活用して、小中高生はもとより高齢者にも参加してもらう。高齢者の“いきいきサロン”にも使ってもらうなど検討できないか。

答　千曲市は３回目のエントリーで、昨年６月19日に日本遺産に認定されました。市では企画政策部に部局横断の「日本遺産推進室」を設け、４月６日には「千曲市日本遺産センター」がプレオープンし、ＰＲ看板の設置やバスツアーなどの各推進計画が実行されています。
建設経済：バスツアーの開催について、市内29の文化財とストーリーですが市民の皆さんもご存じないものもあると思います。高齢者ばかりでなく多くの市民に“日本遺産「月の都 千曲」”を知っていただくことが大切だと考えます。特に子どもたちには、千曲市の優れた文化財を知ってもらい将来は故郷に戻れるように、多くの人がストーリーを学び触れ合う機会を多く持てるように“バスツアー”の活用を呼び掛けてまいります。



問　障害者には大きく分けて3種類あり、身体障害・知的障害・精神障害となりますが、市の福祉医療費給付金事業では精神障害者だけが入院医療費の給付がされていない。家族会として市長にも陳情に行ったが、税金を拠出することでありすぐには難しいという返事だった。そこで市民を代表する市議会に今後「請願」を出したいと思っている。



問　稲荷山温泉ホテル杏泉閣が倒産して１年。杏泉閣を防災の拠点としても何とか市で活用してもらえないか。市長にも要望している。

答　市民要望について、皆さんにきちんと回答をするよう議会から申し入れていきます。

問　大田原は土砂災害・地震災害マップで多くの民家が被災するようになっている。高齢化がますます進む中でどうやって避難できるのか見当もつかない状況で、公民館の地元譲渡など現実的ではないと思うし、あと20年たったらどうなるか、議会でも地域の実情をもっとよく見て国の制度だからでなく、大事なことは議会がもっと住民に寄り添った議論をして市長に伝えてもらいたい。

答　今の計画は13%の縮減目標で数字の上で追いかけてきたもので、他の地域でも様々なご意見が出てきています。大田原においても特異な地域事情がありますので、地元の皆様の声をよく聞き、様々な対策をとった上で進めるよう議会として委員会を通して発言をしてまいります。

問　71区の区長にも女性はいませんので、今後男女共同参画の環境づくりを進めてもらいたい。

答　男女共同参画については、市でも時間は掛かってもしっかり取り組んでまいります。５年後に職員女性管理職登用割合20%や審議会等女性委員参画目標40%など、１年ごとに進捗状況報告を市長が行うことになっております。
⇒委員会として計画の進捗をチェックしてまいります。

問　ゴミ袋購入チケットを廃止すべきとの質問について、チケット制度はゴミの減量化が目的なのだから廃止はおかしい。

答　ゴミ減量のためのチケットですが、環境審議会に諮って他市の状況も踏まえて議論を進めています。
⇒3 月議会の質問、委員会の審議でチケットをなくしてほしいという住民の声もあり、市民の声を聴

の時にスポーツ振興基金を作り、現在 5.6 億円ほど積み上がっており、野球場建設のための基金であることを担保したいと思います。今は戸倉地区に総合運動公園構想が出てきていますので、大きな国の補助を受けた公園構想の中に野球場を含めるようにしっかり要望してまいります。市民の声を実現できる議会を目指して一層行政に相対してまいります。

問　新庁舎の改善について
19号台風による洪水では、85㎝の盛土のおかげで辛うじて断水せずに済んだが、もっと大きな水害であったならば１階フロアーに設置されている「受水槽」と「揚水ポンプ」が冠水し使用することが出来ない。市長や部長や業者に、設計説明会などで何度も改善提案をしたが曖昧な説明を繰り返すだけで、実施設計図面の公開もされずに庁舎は完成。近年の異常気象では何が起こるか分からない。堤防の越水や決壊が起こらないような完全な補強工事がされない限り千曲市民は安心した生活が出来ない。また今の庁舎では心配だ。「市民のための防災拠点として安心・安全な頼れる建物」にして、市民が誇れる庁舎に改善をお願いする。

答　2015年９月に茨城県常総市でも改築したばかりの新庁舎が、鬼怒川の堤防決壊により約１ｍ冠水、夜に待機・活動していた市職員や避難市民、自衛隊員・消防署員・報道など約1,000人を集めた市庁舎は、あえなくライフラインや通信・交通機能を喪失し、市の災害対策本部ごと孤立しました。千曲市と同様のハザードマップ警戒エリアでした。ご指摘は、新庁舎の水害対策は不十分であるというご意見ですのでしっかり承りました。

問　千曲市の少子化対策、未婚の若者の増加や子どもを望まないカップルへの対策、子どもの貧困問題対策について伺う。小川市長は“千曲市を変える”と言われましたが変わったような姿が見えない。議会の傍聴で伺っていても市長の答弁にフレッシュなビジョンが見えない。お金を掛けなくても発想の転換で“宝”を磨くことはできるのではないか。千曲市は市民との協働を目指すのであれば、多くのサークル・団体は市を支えるという意識も高く持っていますので、そういう団体に例えば温泉入浴チケットを配布して温泉を訪れる機会を増やすなどの活性化策も考えてはどうか。市内の全世代が千曲市は変わってきたなと感じられるような施策を実現してほしい。小さな変化が千曲市を元気にするのではないか。

答　まちの雰囲気や“かたち”、子どもたちの育て方が変わっていくということだと思います。子どものことは「こども未来課」も「保育課」も頑張っています。保育の無償化や子どもの貧困については見えづらくても子ども食堂などで支えていきます。また高齢者ばかりでなく、地域で支え合う仕組みづくりとして「地域包括支援システム」の充実などもあります。市には協働の団体が100を超えていますので、これからはそれらの団体をどう連携して支援していくかが課題だと思います。未婚率が高い問題や出生率をどう上げるかについて、様々な施策をやってきています。子どもの貧困や家庭の貧困問題などにも、公・民のそれぞれの子ども食堂への連れ出しなど工夫し、“待ち”から“集める”ためのイベント開催など取り組んでいます。

問　八幡地区の場外車券売り場設置について、ギャンブルでの地域おこしは誤りだと思う。英知を絞って千曲市に来ないように議会のご協力をお願いしたい。今まで長野県にはなかった。これからも子ども達にはそんな環境を残していただきたい。

答　３月議会で「競輪場外車券売り場について経済産業省に許可をしないよう求める請願」が継続審査となり、先日委員会で審査をいたしました。様々な経緯はありましたが、八幡地域の区長さんからは４年間通して変わらず「是非とも進めていただきたい」との要望で、地元地域では大きな反対という声は上がっていないということでしたが、賛成・反対のそれぞれの声は当然あります。本来行政も議会も口を出せない民・民の問題です。しかし請願が出ましたので議会として地元区の意見や警察調査・経産省の手続き、市民の声を参考にして６月議会で請願への可否を決めさせていただくということであります。
⇒請願は否決

問　信濃川水系緊急治水対策プロジェクトに関連した遊水地について、中・新田区の遊水地には過去にも「養豚場」や「ビンのクラッシャー施設」の誘致問題、2006年には「ごみ焼却場施設」の誘致問題があった。当時の市は、遊水地を軽視していたことは明らかで、議員の皆さんは国交省が示す洪水調節機能である「遊水地」についてしっかり認識を持って、あの場所の遊水機能を国・県・市が一丸となって高めるよう真剣に取り組み、二度と遊水地機能を劣化させるようなことは止めていただきたい。

答　千曲市は長く大きな水害がなく、その中でご指摘の誘致問題が起きてしまったことは反省すべき点であると思います。議会としても今回の水害を受けて危機感を高め「信濃川緊急治水対策プロジェクト」に対し、遊水地を含め的確な治水対策が進むよう提言をしてまいります。

問　中区の遊水地の活用について①国道の交通量緩和のためにも霞堤の堤防道路を繋げること。②霞堤内の生コン工場を買収して、そこを２mくらい掘り下げて総合運動場や公園を造り、水害時には遊水地として活用することを市に提案した。ところが水害対策で大型土嚢を置いてしまった。平時にはスポーツ公園として、水害時には遊水地として活用できるように「緊急治水対策プロジェクト」に提案してもらいたい。2006年に新田区として「千曲川の水辺の多目的緑化計画」を環境部に提案。千曲川こそわが郷土を豊かにしてくれる宝であり、市民が親しめる多目的エリアとして、市議会は千曲川再生計画を市民の英知を結集して再検討し、国交省へ提案してもらいたい。

答　水害を通して千曲川が悪者のように捉えられる一面もありますが、決してそうではなく、千曲市は千曲川と共に豊かに暮らしていくことが大事だと感じています。国交省「かわまちづくり支援制度」の要綱では、「河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、実現性の高い水辺の整備・利用に係る取組みを定める」とあります。このような制度や緊急治水対策プロジェクトと共に、議会として今いただいたご提案については十分に検討させていただきたいと思います。



※遊水地は現在計画検討中であり、範囲等は確定したものではありません。

問　367 kmの千曲川・信濃川。全国に３つしかない淡水魚水族館を、千曲市に「緑」と「川」をテーマ

答　請願を出していただければ公に議論が出来ますので是非提出をお願いします。

問　昨年東京からUターンで帰ってきたが、今の地域では年をしてから大変に暮らしづらい場所だと感じている。近くにスーパーなどのお店も公共施設もない。周りの高齢者世帯を見ても、車の免許を返納してしまうと買い物も農業も困難になる。たとえばシルバーカーへの援助とか、もっと高齢者が暮らしやすい地域づくりを考えていただきたい。

答　市内では車がなければ暮らしづらい地域は多くありますが、便利なことだけで幸せかということもあります。老後の安心・安全な暮らしを実現するために社協や市の福祉が、現在地域での支え合いの核となる「地域包括支援システム」の充実に取り組んでいます。

問　「月の都さらしな」の素晴らしい場所に車券売り場は作ってほしくない。それよりも今、都会でもがき苦しみ炊き出しの列に並んでいる若者を千曲市へ呼び、荒廃農地再生や高齢者農家に迎えて市の活性化や発展につなげるような取り組みをお願いしたい。

答　千曲市の魅力を発信し、移住・定住策を推進するとともに、いただいたご意見を参考にして、課題解決につなげてまいります。

埴生小学校区　5月21日

問　市民の感覚と議会と行政がバラバラのようでなりません。野球場建設の請願を3代の市長に提出したが、議会では採択され議員連盟もつくり視察なども一緒に行き、1万3千有余の署名活動などもやってきたが実現していない。その一方で体育館は県内自治体で占有面積は一番でとても恵まれているが、高校野球の公式戦が出来るスタンドがないのは千曲市だけだ。これだけの市民意見が通らないのはおかしいし、これでは市民はやる気をなくしてしまう。出された提案・意見がいつの間にか消えていることが多い。議会の皆さんには、今迄の聴く姿勢から一歩進んで実現する方向へ行くように市を動かしてもらいたい。市民の様々な声を実現する議会であっていただきたい。

答　野球場について、３代市長に対して要望し、進める会も出来て署名活動も行い、高校の先生方からも長野と上田の中間で千曲市にも是非造ってほしいとの要望もいただきました。ようやく前市長

が進んでいる。議会として一番大事な税収比率を高める対策について、もっとしっかり議論して進めてもらいたい。

答　自主財源を高める努力は絶対に必要です。そうでなければ、やりたいことが出来ない自治体になってしまいます。国や県からの交付金は入ってきますが、それは民生費など必要経費に充当されますので、市独自の投資的な事業を進めるためには自主財源を上げていく必要があります。少子高齢化がますます進行し労働人口が減っていくということは、地方の自治体はどこも同じ状況に入って、今すでに都市間競争は始まっています。そんな中で千曲市の交通要衝の地や恵まれた環境を活かして市内へ企業を誘致し、屋代の大規模開発などによって税収を増やしていかなければなりません。議会もその趣旨で提言をしてまいります。

問　このように議会が市民の中に入って来て「市民と語る会」を開催することは素晴らしいこと。今、若者の政治離れがより深刻になってきている。今後は、若者世代を対象に「市民と語る会」が行われれば、若い人の身近な意見が出て来てそれが市政に反映され、議会が自分たちの意見を聞いてくれて実現してくれたという事案が出てくれば、若者の目線も変わってくるのではないか。

答　これまで９地域で実施してくる中で好評をいただいてきておりますが、今後の中でご提案の「若い世代」を対象としたり、「女性」を対象とするなど、より広い層の皆さんからご意見をいただけるよう検討していきたいと思います。

問　建設中の屋代焼却場の地代も低くなってしまったのは、市が道路の整備などを進めてこなかったからで、長野市大豆島の焼却場と比べて極端に低い。道路整備はそれほど大事なのに、議会は県からやっと連れてきた内田副市長の再任を認めなかった。議会は何をやっているのか。一重山２号線を通すことにした水族館を造っていただきたい。合わせて、水との戦いの歴史資料館も併設した計画も検討していただきたい。また折角の「水辺の楽校親水公園」もあまり使われていないようなので、もっとＰＲして市民に利用してもらえるようにしてほしい。



答　議員連盟による「千曲川を活性化させる会」について、２市１町でアユ釣りを再生させようと動き出しました。そこでは淡水魚水族館の案も出て、四万十川の淡水魚水族館も視察していますが、まずはこの千曲川沿川にアユ釣りを復活させて、さらに千曲川を活性化する活動を考えてまいります。

屋代小学校区　5月 27 日

問　私は、キッチンカーの営業を始めた。庁舎の庭で営業をさせてほしいとお願いしたら、庁舎に入っているデイリーヤマザキが家賃無償の電気料のみで店舗を出していて、その契約上「庁舎の敷地内では他の飲食販売はできない」と言われた。コロナ禍にあってテイクアウトを推奨しているのに、庁舎で営業できないとはどういうことか。

答　新庁舎になってからキッチンカーの営業や出前なども取ることが出来なくなるなどの制約があるのは事実です。建設時の契約のことですが、ご要望いただきましたので、今後改善できないか行政と議論してご報告申し上げます。
⇒議会から要望し、ガレリアで営業が認められました。試験運用期間をすぎましたが、好評により継続して営業していただいています。

問　どうして県に対して三顧の礼をもって迎えた内田副市長の再任を認めなかったのか。今後副市長はどうするのか。

答　結果的に、10 対９で否決されました。議員個々の判断の結果としか申し上げられません。否決の理由としては、前市長に仕えていた方であるということ、屋代地区の開発本部長として、順調に行っていない責任などがあったのではないか。いずれにせよ市長の人事案件ですので、後任については議会は市長側からの提案を待つ立場です。
⇒７月臨時議会が招集され、副市長人事について小川市長より大内保彦行政マネジメント室室長を副市長に提案され、全会一致で同意されました。

問　千曲市は交通要衝の地でもあり、素晴らしい場所にもかかわらず人口も減り、負債残高も増え弱体化

々な反対意見などの議論がある中で、委員会として今後このような増工については、発生した時点で議会に報告をしなさいという付帯決議を付けて議決することに致しました。この案件は災害復旧という緊急性を持つものですが、これまでも増工については度々問題視してきた経過があり、市民の皆さんにしっかりとした説明がなされるように、議会として求めてまいります。

問　治水対策の堤防嵩上げについて、19 号台風では自宅そばの堤防ではあと 10 ㎝程まで水が上がってきた。対岸の篠ノ井庄ノ宮地籍では越水し、まもなく雨宮緑地のマレットゴルフ場付近が越水、長野市長沼が堤防決壊となりましたが、長沼の決壊がなければ屋代６区の堤防は越水したと思う。対岸の庄ノ宮の堤防護岸工事はコンクリートパネル工法で堤防が 40 ㎝嵩上げして工事は終わったが、今度はこちら側の堤防が低くなっていますので改善が必要。

答　当然そのようなご懸念があろうかと思いますので、行政に伝えてまいります。現在、信濃川水系緊急治水対策プロジェクトが国・県・沿川市町村で進められています。川の治水は下流からが原則ではありますが、各地で護岸工事などが行われています。一番は河床が上がってしまっていることが問題ですので、河床掘削工事は逐次やってまいりますし、屋代６区の皆さんが心配する堤防の嵩上げや強化についてもしっかりと声を上げてまいりますので暫くお待ちください。

問　こういう会（市民と語る会）を始めたことは一つの進歩と思う。「千曲市を変える」「情報公開をする」「市民の知恵を借りる諮問委員会を作る」「観光ルートの開発を考える」「デジタル社会に向けて人材育成のまちをつくる」こうした公約は、小川市長には守ってもらわなければ困る。市議会議員が３分の１入れ替わったことで、議会が変わってきたことはもの凄く力強く感じた。屋代地区の開発は、５年前にイオンが来ると言っていた。須坂市も同時のスタートだった。その時の新聞報道は、屋代の開発の方が断然有利で、須坂は下請けがやるのに対し、屋代はイオンモールが来るんだと、それは当然のことだ。３万坪のインタージャンクションを持っている市なんて無いんだからと我々は期待をした。若い人たちも喜んだが、しかし５年後の結果は、須坂は2年後開店すると言い、しかも42haの土地が満杯に近い。千曲市は何一つ動かない。２億円近く使って調査しただけだ。市会議員の皆さんにも過去について責任があると思う。こんなに良い市で人口が減っていくこと自体がお

も大事で、土地行政は税収を上げる基本であるのに、そのための人材である副市長を辞めさせてしまった。市長の人事案件などと言っていないで、議会も明確に方針を示すべきだ。

答　長野広域で進めていた屋代５区の土地の単価交渉に関しては、その地域の査定に合わせるという上限設定があったため地権者の皆さんには不満があったのではないかと思います。一重山２号線も６年近く掛かるようですが、その先線に繋げることが重要となりますので議会としてもしっかり要望してまいります。

問　今から174年前に善光寺地震があった。あと 30年以内にまた必ず起きる。前回は稲荷山で数百人の犠牲者が出ている。今から住民に防災教育をしっかり進めるべきではないか。

答　善光寺地震について、弘化４年（1847）３月24日に稲荷山が甚大な被害を受けました。稲荷山には慰霊碑があり毎年５月８日には慰霊祭が行われています。地域の子どもたちにも防災教育として伝えてきていますし、今後も地震防災の教訓とさせていただきます。

問　白鳥園について、指定管理が山崎建設になってから利用者が減って経営が成り立たないというが、どうしてお客が減っているのか調査すべきだ。

答　白鳥園の利用者減については、前指定管理者の日本レクシーも様々な企業努力をしてもらいましたが黒字化は困難で５年の契約期間が終わり、その後の管理者が決まらない中、市から補助金を入れることで市内の山崎建設に決まりました。利用者減については委員会として調査して報告させていただきます。

問　上山田中央緑地復旧工事３工区の変更請負契約について、増工によって３工区とも当初契約の倍になっているが、なぜ議会でしっかり審議されないのか。市では１億5,000万円以上は議会承認が必要となっているが、これは１億 5,000 万円以下で契約させて、意図的に増工費を払ったのではないか。議会として情報公開申請をして明細について調査すべき。

答　12月議会開会直前に、上山田中央緑地増工工事の資料が提示され、水害での広範にわたる土砂の堆積量が一定でなく正確に把握できなかったというもので、１回目の増工工事中にさらに多くの起伏から土砂があることが分かったので、２回目の増工になったとの説明でした。議会として初日即決でなく委員会で詳しく議論することになり、様

答　屋代の開発については、市が土地区画整理事業組合準備会を支援している状態で、その中で１億 5,000万円のお金を使っています。それについて我々は使途が正しかったのかどうかはしっかりチェックしていかなければならない立場にあります。議会としてまちづくりの方向性については注視し提言して行かなければいけないと思います。あくまでも地権者の皆様が主体となって方向性を持って進める事業ですし、それをまちづくりの観点からチェックして行くのは我々の仕事かなと思います。



かしい。しかし、いよいよ千曲市も何とかなるなと思っている。それはここに居られる市民を代表する市議会の皆さんがいるからです。どうかプライドを持って、千曲市の若い人のために頑張ってほしい。

答　議会へのエールと受け止めて頑張ってまいります。

問　もともと屋代地区の開発につきましては地権者 240 名のご賛同をいただいて、土地区画整理事業組合準備会を設立して法に則って動いている。市が推進しているわけでも、議会がやっている訳でもないことを認識してほしい。進出企業名も出ていますが、我々地権者が企業を選別する。最終的にどんな企業が来てどういう風になるのかもこれから詰めていく。地権者の私的な権利ですから参考意見としてはお聞きするが、市がとか議会がという話ではないということをご理解いただきたい。そうでないと議会も間違った方向に行くのではと懸念している。そこは気を付けていただきたいと思う。240 名の地権者が財産を提供してそこに誘致するということで、同意書をもらって動いているので地権者でない皆さんが色々なことを言うと地権者は心配するので、そこは私権の問題があるので慎重にお願いしたい。

今月号の表紙は……

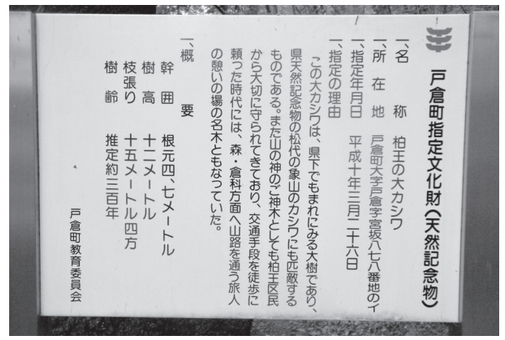
いにしえから人々が 大切に守ってきたご神木

「柏王の大カシワ」

・標識では、戸倉町指定天然記念物となっていますが、現在は、千曲市指定天然記念物となっています。

・山道を15分ほど登った山の中腹にあります。

※いにしえ…過ぎ去った昔。遠い過去。



議会日誌

７月臨時会終了後から９月定例会までの議会活動の紹介です。

7月

８日　長野県市議会議長会総会
９日　議会広報特別委員会
12日　葛尾組合議会臨時会
13日　福祉環境常任委員会
　　千曲坂城消防組合議会臨時会
14日　建設経済常任委員会
15日　議会広報特別委員会
19日　千曲衛生施設組合議会臨時会
20日　長野広域連合議会議会運営委員会
21日　第３回総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
26日　新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会総会（書面議決）
28日　新国道上田篠ノ井間建設促進期成同盟会要望活動
29日　建設経済常任委員会
30日　長野広域連合議会臨時会

8月

２日　総合計画及び創生戦略に関する特別委員会研修会
３日　総務文教常任委員会

8月

19日　福祉環境常任委員会
20日　第４回総合計画及び創生戦略に関する特別委員会
23日　議会運営委員会
　　議会広報特別委員会
30日　議会全員協議会
　　令和３年第５回（９月）千曲市議会定例会開会

9月

６日　議会運営委員会
　　一般質問（個人）
７日　一般質問（個人）
８日　一般質問（個人）・議案審議
９日　総務文教常任委員会
10日　福祉環境常任委員会
13日　建設経済常任委員会
15日　議会全員協議会
16日　議会全員協議会
　　議会運営委員会
　　令和３年第５回（９月）千曲市議会定例会閉会



市民の声

「議会・市政に関すること」をテーマに寄稿いただきました。



宮本　弘之さん
（柏王）

傍聴席

傍聴を通じ感じた事を述べ、今以上に市の諸施策の情報が身近に届くことを期待したい。

質問は理由、背景等具体的に解り易い内容で！　傍聴者・CATV視聴者の市政に関する情報量は不十分です。こうした点を考慮した内容が必要です。

質問は施策実現のためのPDCAサイクルを有効に回す不可欠なもので、その中心的役割は議会が担っています。

特に結果の検証は重要と考えます。

答弁は質問議員さえ納得させれば良しとの意図を感じました。市民目線での内容も含んだ答弁を希望します。

最後に、もっと突込んだ議論を！



南澤　幸男さん
（森）

安心、安全なまちづくり

地球の温暖化に伴う気候変動に依る災害がいつ何処に起ってもおかしくない時代です。令和元年千曲市も甚大な被害が出ました。災害は忘れた頃でなく忘れないうちに来る昨今です。

行政、市議会には日頃防災対策にご尽力を頂いておりますが、危機管理政策は益々重要性が増しております。

危機管理体制の見直しを要望します。

危機管理部署を部局に昇格して防災士、気候予報士等を配置して、正確な情報・迅速な対応が必要と思います。

長期的な展望に立って、命と暮らしが守れるよう要望します。我々市民も危機意識の高揚を図り、災難が小難に小難が無難に済むまちになるよう、災害危機管理に強い千曲市であることを願います。

議会だよりについてのご意見をお寄せください

『みんなの議会』のさらなる充実をめざし、広く皆さまの意見を募集します！
お気軽にご意見をお寄せください。



■記入事項
①住所　②氏名　③議会だよりへのご意見

■提出方法
上記事項を記入し、ハガキ、メール、ファックスによりお送りください。

■宛先
〒387-8511　千曲市杭瀬下二丁目１番地
千曲市議会　議会広報特別委員会
E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
FAX : 026－272－0765

編　集　後　記

57年の時を超えて古関裕而作曲の「オリンピックマーチ」が響き渡り、日本選手の活躍に胸躍らせた夏が終わりました。東京オリンピック・パラリンピックは無観客での開催でしたが、多くの人々の心に深い感動と共感を残す歴史的な大会となりました。

今議会では、若狭清史氏へのアドバイザー委嘱に対する「緊急質問」がありました。政治の根幹は、「民無信不立」（民、信無ければ立たず）であります。心してゆかねばと思います。　（宮下　繁明）

議会広報特別委員

委員長	滝沢　清人
副委員長	飯島　孝
委員	北川原　晃
	吉池　明彦
	中村　恒彦
	宮下　繁明
	田中　秀樹
	林　慶太郎

千曲市議会だより

発行／長野県千曲市議会　TEL 026－272－0199（直通）　FAX 026－272－0765
ホームページ　http://www.city.chikuma.lg.jp　　E-mail : gikai@city.chikuma.lg.jp
発行責任者／千曲市議会議長　和田英幸　　編集／議会広報特別委員会
印刷／寺沢印刷（千曲市大字八幡 2069 番地 7）

●千曲市議会だよりは、地球環境に配慮して再生紙（古紙配合率 70%）を使用しています。